

審議会等の会議録			
会議に名称	平成27年度 座間市スポーツ推進審議会（第2回目）		
と き	平成27年11月24日 午前10時～		
ところ	市役所5階 5-2会議室		
出席者	椿会長、森谷副会長、松下委員、阿藤委員、熊沢委員、大矢委員、日極委員、（欠席）内山委員		
事務局	加藤健康部長、曾根スポーツ課長、安斉副主幹兼振興係長、菅野主事		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	0人
非公開・一部公開した理由	_____		
議題	座間市スポーツ推進審議会委員委嘱式 (1) 平成28年度社会体育関係団体に対する補助金の交付について (2) 来年度事業（予定）について		

【スポーツ推進審議会】

健康部長	平成27年度座間市スポーツ推進審議会を開催する。
椿会長	加藤健康部長あいさつ 椿会長あいさつ
事務局	議題に入りさせていただきますが、進行につきましては、規約に基づき椿会長、進行の方よろしく願いいたします。

議長	<p>3 議題の(1)平成28年度社会体育関係団体に対する補助金の交付について、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、説明させていただきます。</p>
	<p>資料3枚目の「平成28年度社会体育関係団体補助金交付予定一覧」をご覧ください。</p>
	<p>資料に基づき、補助金名・団体名・代表者名、前年度との増減比較、各団体の説明を行いました。</p>
	<p>団体別の平成28年度の補助金額は、座間市スポーツ指導者協議会運営費補助金として「座間市スポーツ指導者協議会」に対し30,000円、座間市スポーツ推進委員協議会運営補助金として「座間市スポーツ推進委員協議会」に対し50,000円、座間市体育協会運営費補助金として「座間市体育協会」に対し、2,100,000円、座間市スポーツ少年団本部運営費補助金として「座間市スポーツ少年団本部」に対し、70,000円、座間市レクリエーション協会運営費補助金として「座間市レクリエーション協会」に対し210,000円を予定しています。なお、各団体の活動状況等について説明をさせていただきました。</p>
議長	<p>説明が終わりました。何かご意見等ございますか。</p>
松下委員	<p>座間市スポーツ指導者協議会には、どのような仕事で、どのくらいの指導者が参加しているか分かりますか。</p>
	<p>スポーツ指導者協議会というと全市的な団体に見えるけど種目も少なく一握りの指導者です。法律に基づいて指導者講習を受けている団体ですけど、種目や人数から言うのごくわずかです。市への協力といっても財団で開催する教室の指導者としての派遣ということです。金額的には30,000円ですけども、これは意見ですので参考にさせていただければけっこうです。</p>
事務局	<p>事務局といたしましては、指導者協議会の活動としては指導者養成を受けて、その認定を受けたものが組織し、要請があれば派遣をお願いしている団体で、今まで特に派遣や活動に支障がないものと考えております。</p>
	<p>今後は、活動内容も含め、市の立場として指導してまいります。</p>
松下委員	<p>参考までに、体育協会の種目団体もほとんどこの指導者協議会に参加していません。例えば、野球協会や剣道協会等の指導者の方は、この指導者協議会に参加していない。名称は、座間市スポーツ指導者協議会であるが、全市的に各種目の指導者が参加しているように見えるがごく一部の種目の指導者しか参加していない状況の団体です。</p>
事務局	<p>指導者の種目については、おっしゃるとおりかと思います。</p>

森谷委員 松下委員	指導者協議会の指導は、ニュースポーツの指導なのか。
	ニュースポーツの指導は、スポーツ推進委員協議会が主に行っているもので、指導者協議会は、例えばジャズダンスとか太極拳とかで、体育協会の種目団体には入っていない種目の指導を行っている団体です。財団で開く教室の指導者として派遣されているのは、バドミントンとかソフトバレーボールなどです。
事務局	今、松下委員がお話しいただいている指導者協議会のメンバーの方には、色々な団体に関係している方もおり、例えば、スポーツ少年団や体育協会などに所属している種目団体でもあるバドミントンやバスケットボール、空手等の団体に所属している方も加入しております。主な活動としては、財団で開かれている教室の指導者として、また、指導者協議会に所属しながら県の養成講座を受講し、指導者としての情報や知識等を吸収し、関係団体を通じて市民等への指導に役立てていただいております。市では今後もより多くの指導者養成に努めていただけるよう、補助をさせていただいているものです。
松下委員	あくまでも参考意見です。
事務局	<p>それでは、平成28年度社会体育関係事業計画（予定）を説明させていただきます。</p> <p>資料に基づき、年間の事業計画を説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～9月 座間市総合体育大会 ・ 5月 健康水中ウォーキング、弘法山ふれあいハイキング、チャレンジデー ・ 6月 健康ウォーキング、カローリング教室 ・ 7月 第1回体力年齢ウォッチング、親子キャッチボール教室 ・ 8月 カローリング大会 ・ 10月 健康水中ウォーキング、健康ウォーキング、ニュースポーツ教室、座間市チャリティーゴルフ大会 ・ 11月 第2回体力年齢ウォッチング、ニューフィールドゲーム、親子サッカー教室、第33回市民健康マラソン大会 ・ 1月 ソフトバレーボール大会 ・ 2月 第71回市町村対抗かながわ駅伝競走大会、スポーツ少年団交流大会、スポーツ少年団野球教室 ・ 3月 第51回座間市駅伝競走大会 ・ 7月20日～8月31日 市立プール一般開放

議長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>特に無いようなので、その他についての説明報告等ありますか。</p>
事務局	<p>来年度の会議予定ですが、役員の改選が27年度ございましたので、特に諮問事項がなければ、11月の時期に補助金等について諮問事項として審議を予定しております。</p> <p>また、スポーツ振興計画につきまして、平成20年度策定をしており、平成29年度が最終年度となり、平成30年度以降のスポーツ推進計画の策定に関し、素案をご審議いただく予定をしております。時期は未定ですが今後の審議内容を審議していただく予定です。</p>
松下委員	<p>スポーツ庁が発足されましたが、30年の計画の改定のころには、幼児からお年寄りまで、1日どのくらい運動したらよいか。そういうデータを公表するはずである。改定する前に出されるデータから分かると思いますが、幼児から運動を行わないと終生続かない。幼児から行うことで体を動かす楽しさを身につければ生涯行うと思う。そういったことも参考にさせていただきたい。</p>
事務局	<p>松下委員がいうとおり、スポーツ庁ができてそういった点が中心になると思います。今回事業計画でご説明していますが、今の時代ボールを投げることや蹴るということができない子が多い。学校の先生も教育現場で目にしていると思いますが昔に比べて薄れている。市では、こういった現状からも野球をやらなくても良いから、ボールの投げ方の指導を行う野球教室やサッカーをしなくてもボールを蹴るサッカー教室の開催を行っています。こういった取り組みを今後のスポーツ推進計画に盛り込んでいきたいと考えております。</p>
松下委員	<p>公園でキャッチボールをしてはいけない時代である。危険だからということで遊ぶ場もない。空いていても禁止されているため出来ない。</p>
事務局	<p>キャッチボールすることは公園を占有してしまうことになるかと判断される。自由に遊べる場所等の環境がなくなってしまっている。</p>
阿藤委員	<p>スポーツ少年団で関わっていますが、益々、特殊になっている。子供が自由に遊んで体を作ることができない。剣道なら剣道、水泳なら水泳、限定されたスポーツをするだけとなっている。</p> <p>日本体育協会の情報ですが、アクティブチャイルドプログラムの研修が始まっています。</p> <p>昔遊びから幼児に遊ぶ楽しさや運動をする。という研修が神奈川県でも始</p>

	<p>まっています。全国で10カ所のうち、神奈川県も選ばれ、12月23日に藤沢市で開催されます。スポーツ少年団に限らず色々な種目団体の指導者に参加していただくものです。就学前の子供たちが狭い場所でも遊べるニュースポーツと昔の遊びを組み合わせた運動・スポーツを取り組んでいこうとしています。</p>
森谷委員	<p>神奈川県の子どもたちの体力は、47都道府県の中でも下の方である。自宅から学校までが近すぎる。地方であれば学校まで一山、ふた山を越えていく。通うだけでも体力がついてくる。生活環境の違いで、体力が落ちているとも言われている。山岳地帯に住んでいる人は駅伝など走ることが強くなる。逆に、都市部においては室内競技のバスケットなどの運動にたけた人が多くなると言われる。</p>
松下委員	<p>昔の子は、1里も2里も歩いて通学したと思いますが、現在では、バス通学になっているので、その辺は変わっているのかもしれませんがね。</p>
事務局	<p>生徒数の減少に伴い、学校の統廃合なども加わり遠方の学校に通わざるを得ないためバス利用が増えているともいえます。</p>
椿委員	<p>わが子も二人、市内では遠い学校であったので、小学1年生のころは何故、バスが出ないのか心配でしたが、今となっては、足腰が丈夫になったと思える。</p>
松下委員	<p>座間市内は、山坂が多い。人によっては急な坂を削ってほしいなど言われる人がいますが、考え方で、坂が多い市内を歩いていることで、足腰が鍛えられると思うとよいのでは、足の悪い方にとっては大変でしょうが平坦なところしか歩いていないと年を取ってから歩けなくなってしまう。使わないと筋力は落ちるし、寝た切りにもなりかねない。座間の人は前向きに考えればゆくゆく年をとっても良かったと思えるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市内の起伏や景観などを上手に体力づくりに生かしていただければと思います。</p>
松下委員	<p>どちらかの町では、坂道をウォーキングコースにして歩きながら富士山を眺めるコースを設定しウォーキングしていると聞いています。</p>
事務局	<p>座間市でもウォーキングを実施していますが、実行委員の方々がコース設定をする際に、起伏などを選びながらコース設定を行っています。結構、楽しめるウォーキングコースとなっています。</p>
椿委員	<p>公園の関係は公園緑政課と思いますが、近くの公園の遊具について、最近、ジャングルジムや鉄棒が老朽化により撤去され、新しく設置されたのは、小さなジャングルジムと砂場、滑り台です。低学年用の鉄棒など体力づくりに役立つものや大きなジャングルジムでは体力が養われてきたと思いますが、新設の遊具は、外観はかわいいですがどれも幼児向けの小学生たちにとつ</p>

<p>森谷委員</p>	<p>ては寂しいものとなっています。ああいうものを無くしてよいのかと思います。どんな基準で設置しているのでしょうか。</p> <p>公園などの遊具でスリルがあるものや面白そうなものは人気があります。行政では、安全な遊具の設置に切り替える。事故が起きるとすぐ賠償だとか裁判だとか。苦情などが多くなるので、設置する際に安全なものにしていかざるを得ないのではないのでしょうか。ジャングルジムや回旋塔などはもっとあっていいと思いますが、怪我などが発生するとクレーマーなどが騒いだり、裁判を起こすなどで、行政としても安全が第一になってしまうと思います。</p>
<p>松下委員</p>	<p>私の近くの公園では、鉄棒が新設されています。何か要望でもあったのかと思いますが鉄棒は設置しないということではないですね。</p>
<p>椿委員</p>	<p>とにかく、幼児・子供たちの体力不足ということは大問題ですよ。</p>
<p>松下委員</p>	<p>大事にというよりは、過保護に育てられているのではないのか。</p>
<p>森谷委員</p>	<p>怪我をしてもそこで学ぶことが大切。直ぐに苦情や賠償ということが多くなっているので、行政は、より安全な遊具の設置となるのではないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>環境等の変化により対応も変わってきているのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ほかに無ければ、以上を持ちまして座間市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。貴重なご意見等ありがとうございました。</p>